

# 平成21年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成21年1月27日

上場会社名 ビオフェルミン製薬株式会社  
 コード番号 4517 URL <http://biofermin.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 藤本孝明  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 北原弘雄  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

上場取引所 大

TEL 078-575-5501

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第3四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	6,619	—	1,700	—	1,770	—	1,091	—
20年3月期第3四半期	6,445	6.1	1,809	△1.0	1,847	△2.2	1,109	0.1

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第3四半期	93.33	—	—	—
20年3月期第3四半期	94.83	—	—	—

### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
21年3月期第3四半期	19,672	—	16,151	82.1	—	—	1,380.91	—
20年3月期	19,496	—	15,942	81.7	—	—	1,362.92	—

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 16,151百万円 20年3月期 15,942百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円	円	円	円	円
20年3月期	—	17.50	—	34.50	52.00
21年3月期	—	26.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	26.00	52.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	8,300	△3.5	1,800	△17.7	1,870	0.9	1,100	0.1	94.04

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

### (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧下さい。

### (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧下さい。

### (3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 12,154,000株 20年3月期 12,154,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 457,529株 20年3月期 456,472株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第3四半期 11,697,036株 20年3月期第3四半期 11,698,252株

### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当事業年度より、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い、四半期財務諸表を作成しております。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期の売上高は、大衆向製品では主力である「新BioフェルミンS」が前年同期比1千6百万円、0.4%の微増でありましたが、昨年3月末に新発売いたしました「Bioフェルミン便秘薬」の市場への導入や「Bioフェルミン下痢止め」などその他既存品が順調に推移したこともあり、大衆向製品全体で40億7千1百万円（前年同期比3千4百万円、0.8%の増加）となりました。

一方、医療用医薬品では、「Bioフェルミン錠剤」が前年同期比1億4千9百万円、33.5%の増加と引き続き順調に推移したことにより、医療用医薬品全体で23億6千1百万円（前年同期比1億3百万円、4.6%の増加）となりました。

動物用医薬品、乳酸菌バルクを含めた売上高全体では、66億1千9百万円（前年同期比1億7千4百万円、2.7%の増加）となりましたが、有形固定資産の減価償却費等が増加したため、営業利益は17億円（前年同期比1億9百万円、6.0%の減少）、経常利益は17億7千万円（前年同期比7千7百万円、4.2%の減少）、四半期純利益は10億9千1百万円（前年同期比1千7百万円、1.6%の減少）となりました。

なお、売上は順調に推移しており、経費の支出も計画に変更はなく、業績は当初予想通り進行する見込みです。

2. 財政状態に関する定性的情報

総資産は、前事業年度末に比べて1億7千5百万円増加し、当第3四半期会計期間末における残高は、196億7千2百万円となりました。

流動資産は、売掛金の回収等による現金及び預金の増加が主な要因となり、前事業年度末に比べて4億1千5百万円増加し、当第3四半期会計期間末における残高は、101億4千5百万円となりました。

固定資産は、当社保有株式の時価の減少による投資有価証券の減少等が主な要因となり、当第3四半期会計期間末における残高は、95億2千6百万円となりました。

負債は、未払金の増加等があったものの、繰延税金負債が減少したこと等が主な要因となり、前事業年度末に比べて3千3百万円減少し、当第3四半期会計期間末における残高は、35億2千万円となりました。

純資産は、当社保有株式の時価の減少によるその他有価証券評価差額金の減少があったものの、別途積立金の積立等によるその他利益剰余金の増加等があったことが主な要因となり、前事業年度末に比べて2億8百万円増加し、当第3四半期会計期間末における残高は、161億5千1百万円となりました。また、自己資本比率は82.1%となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の業績予想につきましては、平成20年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略して前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

② 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法については、第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号)が適用されたことに伴い、次のとおり変更しております。

製品・仕掛品	総平均法による原価法から総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)
原材料	移動平均法による原価法から移動平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)

なお、これに伴い、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響はありません。

5. 【四半期財務諸表】  
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,819,700	5,279,310
売掛金	3,868,268	3,965,705
製品	132,928	114,123
原材料	78,259	64,720
仕掛品	67,520	55,463
貯蔵品	24,398	28,370
繰延税金資産	135,892	135,892
その他	18,363	86,096
流動資産合計	10,145,330	9,729,683
固定資産		
有形固定資産		
建物	5,483,460	5,483,460
減価償却累計額	△2,439,069	△2,216,877
建物(純額)	3,044,391	3,266,582
構築物	242,081	242,081
減価償却累計額	△121,691	△104,705
構築物(純額)	120,389	137,375
機械及び装置	4,263,239	4,154,523
減価償却累計額	△3,704,678	△3,592,821
機械及び装置(純額)	558,561	561,701
車両運搬具	5,710	5,710
減価償却累計額	△4,867	△4,214
車両運搬具(純額)	842	1,495
工具、器具及び備品	456,444	433,302
減価償却累計額	△346,625	△321,533
工具、器具及び備品(純額)	109,819	111,768
土地	3,253,750	3,253,750
建設仮勘定	331,820	39,220
有形固定資産合計	7,419,574	7,371,894
無形固定資産	15,636	9,919
投資その他の資産		
投資有価証券	2,078,833	2,371,786
従業員に対する長期貸付金	1,810	1,980
その他	11,770	11,821
貸倒引当金	△694	△694
投資その他の資産合計	2,091,719	2,384,893
固定資産合計	9,526,930	9,766,707
資産合計	19,672,261	19,496,390

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	50,570	46,552
未払金	1,325,354	1,057,182
未払法人税等	392,189	451,375
預り金	48,940	11,322
返品調整引当金	12,000	12,000
販売促進引当金	32,000	68,000
賞与引当金	63,803	176,890
役員賞与引当金	52,500	60,000
流動負債合計	1,977,359	1,883,323
固定負債		
繰延税金負債	1,100,907	1,221,018
退職給付引当金	218,788	220,610
役員退職慰労引当金	223,406	228,605
固定負債合計	1,543,102	1,670,233
負債合計	3,520,461	3,553,557
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,227,000	1,227,000
資本剰余金	734,937	734,810
利益剰余金	13,975,156	13,591,210
自己株式	△688,004	△685,739
株主資本合計	15,249,089	14,867,281
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	902,709	1,075,551
評価・換算差額等合計	902,709	1,075,551
純資産合計	16,151,799	15,942,833
負債純資産合計	19,672,261	19,496,390

(2) 【四半期損益計算書】  
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	6,619,245
売上原価	1,850,997
売上総利益	4,768,247
販売費及び一般管理費	
販売促進費	204,280
販売促進引当金繰入額	32,000
発送費	42,241
広告宣伝費	2,020,254
役員報酬	85,140
給料及び手当	219,793
賞与引当金繰入額	25,118
役員賞与引当金繰入額	52,500
退職給付費用	6,687
役員退職慰労引当金繰入額	12,607
福利厚生費	30,967
減価償却費	17,862
研究開発費	213,034
その他	105,619
販売費及び一般管理費合計	3,068,107
営業利益	1,700,140
営業外収益	
受取利息	6,516
受取配当金	66,564
還付加算金	1,690
雑収入	5,495
営業外収益合計	80,267
営業外費用	
寄付金	295
固定資産除却損	1,689
支払手数料	5,664
たな卸資産除却損	1,354
雑損失	1,093
営業外費用合計	10,097
経常利益	1,770,310
特別利益	
主要株主株式短期売買利益返還益	80,316
特別利益合計	80,316
特別損失	—
税引前四半期純利益	1,850,626
法人税等	759,000
四半期純利益	1,091,626

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	1,850,626
減価償却費	399,893
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△113,086
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7,500
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△1,822
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△5,198
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△36,000
受取利息及び受取配当金	△73,081
受取賃貸料	△3,832
固定資産除却損	1,689
売上債権の増減額 (△は増加)	97,437
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△40,427
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,018
未払金の増減額 (△は減少)	7,423
未払消費税等の増減額 (△は減少)	111,491
その他	87,763
小計	2,279,395
利息及び配当金の受取額	66,035
賃貸料の受取額	3,832
法人税等の支払額	△818,186
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,531,076
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	△1,100,000
定期預金の払戻による収入	900,000
有形固定資産の取得による支出	△314,324
無形固定資産の取得による支出	△8,360
その他	210
投資活動によるキャッシュ・フロー	△522,474
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
自己株式の取得による支出	△2,617
自己株式の売却による収入	480
配当金の支払額	△666,075
財務活動によるキャッシュ・フロー	△668,212
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	340,389
現金及び現金同等物の期首残高	4,379,310
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,719,700

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

当第3四半期累計期間における損益計算書において特別利益に計上した「主要株主株式短期売買利益返還益」は、金融商品取引法第164条第1項の規定に基づき、主要株主が当社株式の短期売買により得た利益に対して返還請求を行ったものであります。



【参考】

前四半期に係る財務諸表等  
 (要約) 四半期損益計算書

	平成20年3月期第3四半期 (平成19年4月1日から 平成19年12月31日まで)
区分	金額(千円)
I 売上高	6,445,071
II 売上原価	1,703,913
売上総利益	4,741,158
III 販売費及び一般管理費	2,931,723
営業利益	1,809,434
IV 営業外収益	72,450
V 営業外費用	33,909
経常利益	1,847,974
VI 特別利益	26,339
税引前四半期純利益	1,874,314
法人税、住民税及び事業税	765,000
法人税等調整額	—
四半期純利益	1,109,314